

平成 30 年 3 月吉日

お客様各位



ポリビニル硫酸カリウム滴定液 (N/400) のファクター測定法
変更に関するご案内

拝啓 時下益々ご清祥の事とお慶び申し上げます。平素は格別のお引き立てを賜り厚くお礼申し上げます。

ご愛用頂いておりますコロイド滴定用試薬につきまして、下記の理由により現行品を販売終了とし、新たなファクター測定法に変更の上、新商品として発売する事と致しました。

ご使用頂いておりますお客様におかれましては何卒ご事情ご理解の上、新商品を引続きご利用下さいます様お願い申し上げます。

なお引続き、最新技術による製品評価、品質管理に努めていく所存でございます。よろしくご指導賜ります様、重ねてお願い申し上げます。

記

【現行品】

コード No.	品名	規格	容量
164-21655	ポリビニル硫酸カリウム滴定液(N/400)	コロイド滴定用	500ml



【新商品】

コード No.	品名	規格	容量
167-28105	N/400 PVSK 溶液	コロイド滴定用	500ml

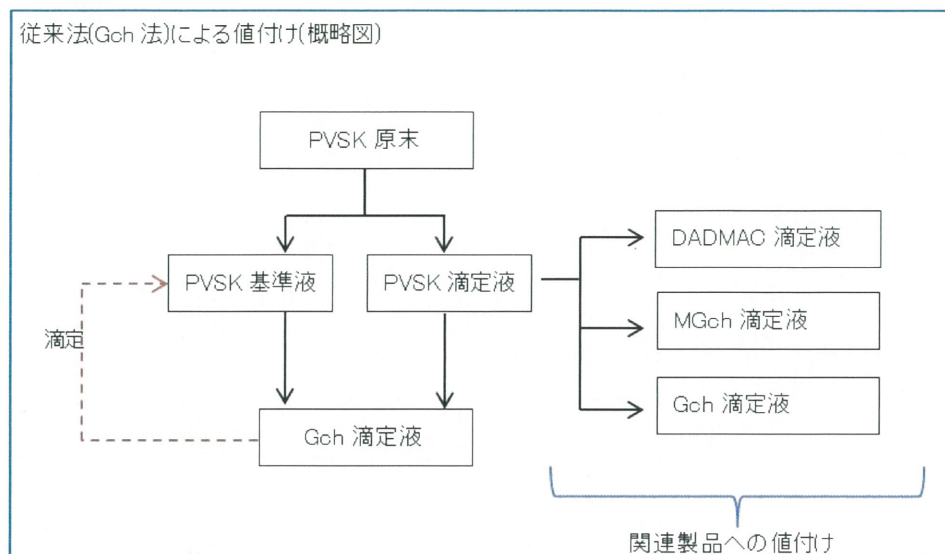
【変更の経緯とその理由】

コロイド滴定法においてポリビニル硫酸カリウム滴定液は基準として使われている試薬です。近年、値の国際整合性の観点から国際単位 (SI) にトレーサビリティを求める動きが出ています。当社ではその動きに合わせ、ポリビニル硫酸カリウム滴定液の値付け方法について検討を重ねて参りました。今般、国立研究開発法人 産業技術総合研究所 (産総研(NMIJ)) の協力の下、SI 単位系に繋がる値付け方法を整備することが出来ました。今後は SI 単位にトレーサブルな評価方法を用いたポリビニル硫酸カリウムを供給させていただきます。

1. 測定方法の変更点について

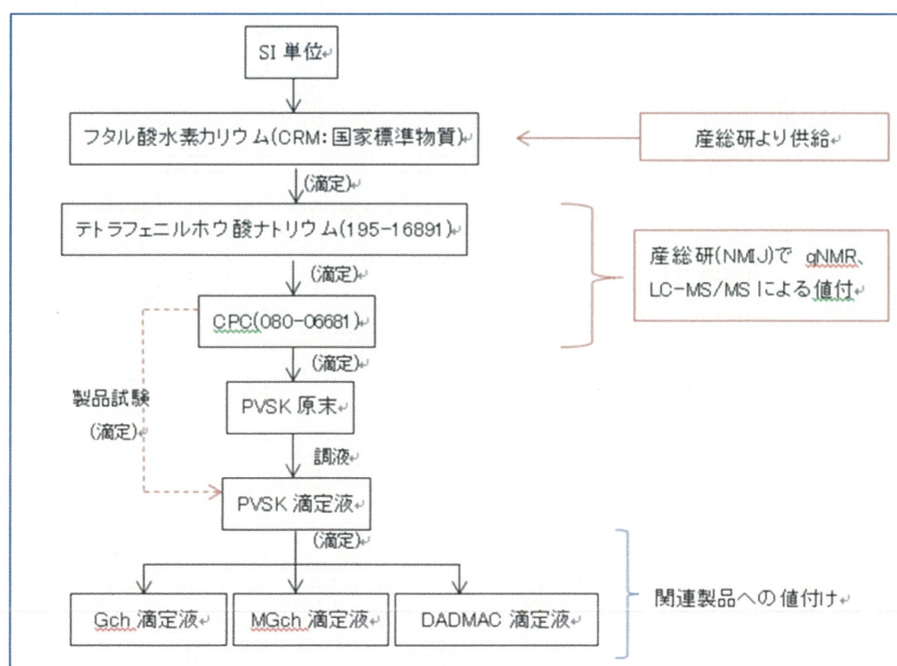
【現行品の値付け方法】

これまでは、PVSK 滴定液と Gch 滴定液で互いに値付けし合う手法となっていました。
また、SI トレーサブルではありませんでした。



【新商品の値付け方法】

産総研で値付けされた CPC を用いて PVSK 滴定液の値付けを行い、SI 単位系に遡及できる測定方法へ変更致します。



〔略語説明〕

PVSK : ポリビニル硫酸カリウム / CPC : ヘキサデシルピリジニウムクロリド
Gch : グリコールキトサン / MGch : メチルグリコールキトサン
DADMAC : ポリ(塩化ジアリルジメチルアンモニウム)

2. 関連商品について

PVSK 滴定液のファクター値測定方法の変更に伴い、関連商品も以下の通り変更となります。

【現行品】

コード No.	品名	規格	容量
164-21655	ポリビニル硫酸カリウム滴定液(N/400)	コロイド滴定用	500ml
072-05045	グリコールキトサン滴定液 (N/200)	コロイド滴定用	500ml
137-14655	メチルグリコールキトサン滴定液 (N/200)	コロイド滴定用	500ml
161-14695	0.0025N ポリ(塩化ジアリルジメチル アンモニウム)溶液	コロイド滴定用	500ml



【新商品】

コード No.	品名	規格	容量
167-28105	N/400 PVSK 溶液	コロイド滴定用	500ml
077-06715	N/200 Gch 溶液	コロイド滴定用	500ml
139-18875	N/200 MeGch 溶液	コロイド滴定用	500ml
042-34455	N/400 DADMAC 溶液	コロイド滴定用	500ml

- また今回のファクター値測定方法の変更に伴い、各原末の販売を終了致します。
今後は各滴定液をご使用下さいますようお願い申し上げます。

【現行品】以下の商品は販売中止となります。

コード No.	品名	規格	容量
162-03071	ポリビニル硫酸カリウム	コロイド滴定用	10g
072-01581	グリコールキトサン	コロイド滴定用	10g
134-04731	メチルグリコールキトサン	コロイド滴定用	10g

[現行品と新商品の販売時期について]

- 新商品の発売は 2018 年 6 月以降を予定しています。現行品は 2018 年 12 月末を目処とし、在庫なくなり次第、販売終了する予定です。6 ヶ月間は現行品と新商品を併売致します。

3. お問い合わせ先

その他お気づきの点がございましたら、担当の営業または下記までご連絡下さい。

【試薬・お問い合わせ窓口】

■フリーダイヤル：0120-052-099

■フリーFax：0120-052-806

■アドレス：labchem-tec@wako-chem.co.jp

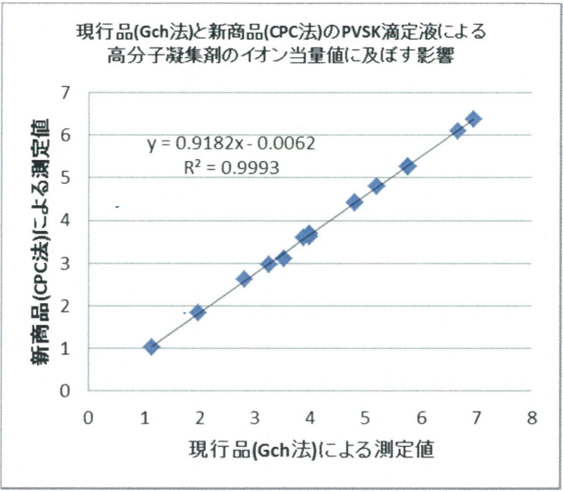
4. 参考情報

【各製品に与える影響について】

今回の変更に伴い各製品に与える影響について、測定した分析例は以下の通りとなっております。

【高分子凝集剤のイオン当量値への影響】

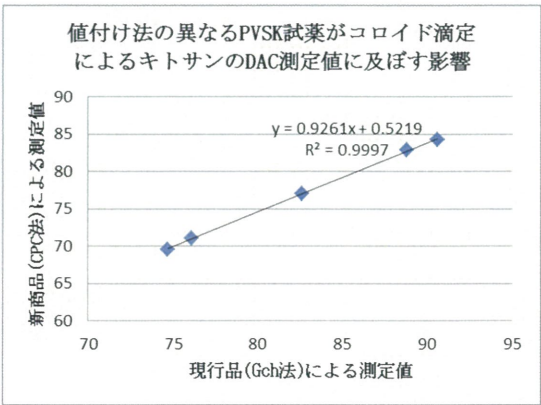
メーカー	商品名	イオン当量値 (meq/g)		新/現 (比率)
		平均值 現行品 (Gch法)	平均值 新商品 (CPC法)	
A社	A-1	3.26	2.98	0.915
	A-2	6.94	6.37	0.918
	A-3	6.65	6.09	0.915
	A-4	5.75	5.26	0.915
	A-5	5.2	4.79	0.921
B社	B-1	4.8	4.41	0.919
	B-2	3.53	3.12	0.885
	B-3	3.98	3.69	0.927
	B-4	1.98	1.83	0.926
	B-5	5.76	5.26	0.912
C社	C-1	3.98	3.63	0.912
	C-2	1.15	1.03	0.899
	C-3	3.88	3.59	0.927
	C-4	2.82	2.63	0.932
	C-5	4.81	4.44	0.922
平均				0.916



【キトサンの脱アセチル化度(DAC)への影響】

値付け法の異なるPVSK試薬がコロイド滴定による
キトサンのDAC測定値に及ぼす影響 (n=4)

キトサン ロット	現行品 (Gch法)		新商品 (CPC法)		新/現 (比率)
	DAC (%)	CV (%)	DAC (%)	CV (%)	
キトサンA	74.7 ± 0.3	0.4	69.6 ± 0.3	0.4	0.93
キトサンB	76.1 ± 0.4	0.6	71.1 ± 0.4	0.6	0.93
キトサンC	82.6 ± 0.5	0.6	77.0 ± 0.5	0.7	0.93
キトサンD	88.8 ± 0.2	0.2	82.9 ± 0.2	0.2	0.93
キトサンE	90.6 ± 0.4	0.4	84.3 ± 0.4	0.5	0.93
平均値		0.4	平均値	0.5	0.93



上記は、参考情報です。全ての製品について同様な結果を保証するものではありません。

以上